

5年	科目	法学	講義	前期または後期	担当	森田茂敬
全学科共通		Law	選択	2学修単位 (講義30+ 自学自習60)		Morita Shigeyuki
授業の概要						
本講義は、人々が社会の中で活動するために守るべき「法」を考察する。それらの「法」の存在には、必ず理由があり、違反する場合には制裁や法的責任を負うことになる。私たちにとって必要不可欠であり、重要な知識としての「法学」を学ぶことにより、工業人としての自覚と優れた人間力を養う機会としたい。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
A. 社会的責任の自覚と地球・地域環境についての深い洞察力と多面的考察力						
授業目標						
1 基本的な法学の知識を習得すること。 2 法的視点から社会問題を考察する素養を身につけること。 3 2)について考察した事柄を論理的に検討し、それを他者に伝える能力を身につけること。						
授業計画						
第1回	オリエンテーション/イントロダクション	授業概要およびシラバスの説明/法学の概要についての説明				
第2回	法とは何か①	法の支配について/法の本質および分類について				
第3回	法とは何か②	法の目的および歴史について/法の適用および解釈について				
第4回	日本国憲法①	憲法(基本法)の考え方と現代的意義/日本国憲法の基本原理				
第5回	日本国憲法②	基本的人権の概要/日本国憲法における人権規定				
第6回	日本国憲法③	統治機構の概要/日本国憲法における統治機構				
第7回	中間まとめ	これまでの学習内容の小括と確認/質疑応答				
第8回	中間試験					
第9回	民法①	民法の概要について/民法の基本原則				
第10回	民法②	物権法/債権法				
第11回	民法③	親族法/相続法				
第12回	知的財産権法	知的財産権の意義と特徴/知的財産権保護政策				
第13回	刑事法①	刑法の概要について/刑法の目的と機能				
第14回	刑事法②	犯罪論/刑罰論				
第15回	裁判員制度	裁判員裁判の意義と目的/裁判員裁判の制度概要				
	期末試験					
第16回	環境法/最終まとめ	環境法の意義と目的/授業全体の総括と最終確認				
評価方法と基準	1 定期試験の得点期末試験(50% ただし、60点を最低合格得点とする) 2 課題レポートの内容(30%) 3 受講態度・課題発表時の積極性(20% 課題発表を含む)					
教科書等	江頭憲治郎ほか『ポケット六法 平成28年版』有斐閣(最新版のものであれば他の六法でもよい) 茂野隆晴編著『プライマリー法学 日本法のシステム』芦書房(本書以外の法学入門書を参照してもよい)					
備考	M科、E科は前期に、D科、S科、C科は後期に開講する。  自学自習課題として発表およびレポートの提出を単位認定の条件とする。  課題発表: 取組む課題を選択し、複数人でグループを作り、講義内において25分程度の発表を行う。 詳細については、第1回講義時に説明する。  レポート: 法的論点に関する課題を1200文字程度でまとめたレポートを講義外にて作成する。 提出期限は、別途通知する。					
	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。					

2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。